

## 岡子連だより

## インリーダー研修会

## 誰よりも夏感じた日！

ジュニアリーダー会長 ジロウ

8月25、26、27日の3日間。岡崎市少年自然の家にて今年も夏のインリーダー研修会が行われました。

めるほどの気持ちのよい天気が続きました。

今年のテーマは「スローライフ」でした。最近の子どもの環境を考えると、炊事や川遊びといったキャンプでは定番となっているイベントも、ただそれだけで貴重な体験なのではないか？というところで、一つ一つ丁寧に、純粹に楽しむということを考えて行う事としました。



この研修会では、子ども達は全部で10ある班に割り振られ、7、9人の子ども達、そして班付であるジュニアリーダー一人と主に行動を共にします。

3日間全てで行われた野外炊事では、例年以上にご飯が上手く炊け、子ども達も満足そうな様子でした。そして、やはり盛り上がったのが、キャンプファイヤーや川遊びです。



川遊び

初めてキャンプファイヤーを体験する子どもも何人かいたようです。その火の大きさや想像以上の熱さに驚いていたようでした。ラストに行われた火舞い、森を抜ける帰り道を照らしたキャンドルについても日記やアンケートでたくさん感想を書いてくれました。



ドラム缶風呂

その翌日には暑い日をもってこの川遊びが待っていました。午前中にハイキングが行われ、太陽の下、山道を歩き回ったため少し辛いかな？と心配もしていましたが、さすがは疲れ知らずの子ども達。持参した水鉄砲やビーチボールなどを持って、とにかく大はしゃぎする姿は見ている私達が逆に元気をもらえたほです。

何人かのジュニアリーダーも川へ入って一緒に遊び、おにごっこやビーチバレーを楽しんでいました。

川から上がった後のドラム缶風呂では、冷えた体を温めるお湯がよほど気持ちよかったのか、2回、3回と繰り返し入る子どももたくさんいました。

めいっばいの思い出を抱えて迎えた最終日、それぞれの記憶に残った出来事を絵日記にし、各班で発表をいたしました。

初めてここにやってきた時は不安そうな表情でいっぱいだった子ども達ですが、お別れ前の自由時間には乗に制作したアドレス帳ページをいっぱいにして、3日間同じ班で過ごした友達との別れを惜しむように帰って行きました。

今年の夏はこれで終わってしまいましたが、数ヶ月後には冬の研修会も行います。夏とはまた違った空間を楽しむことが出来ると思うので、また是非参加してください。

ジュニアリーダーもそろって、みんなの参加を待っています。

# こども会練習

## 助け合う心と熱い思い

北野学区子ども会

長野 幸生

北野学区子ども会は、8単位子ども会から構成されており毎年、学区球技大会、矢作ブロック大会を控え早いところは昨年10月くらいから毎週土曜日・日曜日の朝から夕方まで練習を行い、遊ぶ時間がないくらい一生懸命やってきました。



18年度の学区会長として感じたことは、球技大会前にどんな練習をやっているのか気になり、練習風景を見て子どもたちのひとり、ひとりの姿を見て真剣に取り組んでいる事。監督やコーチに指導される中で、へこたれない姿を感じ取ることが出来ま

もが少ないのかなと思っただけですが、子ども会を通じて子ども達の成長していく姿が見えてくるのがわかりました。

昨年は、雨続きで学区球技大会は悲惨なものだと聞いておりましたが、今年は、天候に恵まれ学区、ブロック球技大会共に無事終了する事が出来ました。

とにかく今年の夏は暑かった。暑い日差しに照らされて大人でも体がえらいと思えるのに、子ども達は大丈夫だろうか、熱中症で倒れないだろうかと心配でしたが、外で練習してきた成果が大会でも生かされていることがわかりました。肉体と精神力を練習で磨きあげて来たからこそ大丈夫だったのでと考えると、各番号を子ども達は付けて、試合に挑んでいる姿に感動しました。

試合に勝ち進み喜んでる顔、負けて悔しさを噛み締め涙を流している顔、いろんな表情を見て子どもながらに熱い思いが伝わってくる事を感じました。それは応援してきたご父兄、各役員及び町内会の皆さんともども同じではないでしょうか。

今の時代は、家でTVゲームばかりやっていて外で遊ぶ子ども



## ソフト・ネット大会へ向かって

六ツ美西部学区 法性寺子ども会

矢野 智子

4月の初め球技大会に向けてソフト・フットの練習が始まりました。子ども達は、早く練習がしたいみたいで集合時間より早い子では30分前に来る子もいました。監督・コーチの下で、子ども達は一生懸命、7月16日学区球技大会に向け、がんばっていました。大会当日梅雨はまだ明けてなく心配でしたが、行う事が出来ました。子ども達も目をキラキラさせながら、試合を行っていました。



男子ソフトは、2年連続優勝という事もあり、「今年も優勝するぞ」と言う意気込みをすごく感じました。

女子フットは「球技大会の次、南ブロック大会へ必ず行くぞ」とみんなの心が一体となり、試

合を行いました。試合の途中雨が降り、中断するという事もありましたが、見事男子優勝、女子準優勝という成績を取る事が出来ました。監督、コーチを始め、子ども達、役員みんな声を上げて泣いて喜びました。優勝旗を手にして、賞状を貰い、メダルをひとり一人にかけてもらいました。



最後にみんなで写真を撮ったのですが、子ども達の笑顔は、最高でした。

次は8月6日に行われる南ブロック大会に向けて練習が始まりました。梅雨も明け暑い日が続く中、子ども達は約5時間位がんばって練習をしていきました。途中気分が悪くなったりする子も出たりしましたが、気合いを入れてすぐ練習に戻ったりしていました。役員一同感動していました。大会当日、朝6時30分に学校へ集合し、練習を向かいました。試合が始まり、



## 球技活動と「土曜スポレク」

形禁学区子ども会  
鈴木洋人

今年から岡子連の仲間入りをさせていただき、子ども会活動も今まで以上に多岐にわたることとなりました。こともまったり、フットベースボール、子ども会大会への参加等、私たちにとても全く未知の事業だったので、子ども会規約を大きく改正し、総務・ソフト・フットベース・レクリエーションの4部会を設けて、各活動を進めていくことにいたしました。

残念ながらソフト・フット共に一回戦で負けてしまったのですが、子ども達の涙は、悔しさの涙、自分はずごく頑張ったと言ふ達成感のあった涙でした。子ども達は4月の練習に会った時よりもこの夏ですごく大きくなっただけでした。

法性寺子ども会バンザイ！

春夏の活動の中心は言わずと知れた球技ですが、何しろフットは初めてですし、ソフトも従来とは勝手の違うところがあり、色々苦労もありました。しかし、ブロックを越えて練習試合をしていただいたり、フットのルール指導をしていただき何とか形にすることが出来ました。お世話になった皆さん、本当にありがとうございました。おかげをもちまして、ブロック大会でソフト優勝、フット3位という好成绩を収められました。残念ながら市大会ソフトは一回戦で敗れましたが、球技にはまっていた子ども達は、ソフトもフットも育成者を巻き込んで大会以後も週末に練習を続けています。子ども達が元気に積極的に活動している姿を見られ、喜ばしい限りです。

さて、秋冬の活動は「土曜スポレク」です。これは平成14年度の学校週5日制実施時に、育成者で発案して始めた事業で、10月より3月の隔週土曜日午前中に様々なスポーツ・レクリエーションを行うものです。指導者は勿論地元育成者で、各々の得意種目を持ち寄ります。サッカー・ショートテニス・ドッチビー・ユニバーサルホッケー等々、子ども達と育成者が共に楽しく活動できることを第一にメニューを設定しています。

小学校の先生方もとても活動に協力的で、「土曜スポレク」の

一環として図工の先生に指導していただく陶芸教室は、毎年とても人気があり、親子で楽しく活動できます。



形禁小学校児童全70名とその保護者によって構成される当子ども会。大き過ぎず小さ過ぎず、小学校全体で一つの単子として活動できるため、「PTAの保護者」子ども会育成者」として学校、地域、家庭の連携が密に行われ、とても良い状況にあります。今後もこの絆を大切に、子どもたちの健やかな成長の場として活動していきたいと思っています。

## 初めての体験

恵田学区 花園子ども会

笠原 康生

私の住んでいる地域は、小学生の子どもを持つ家庭が多く、単子では毎年役員を入れ替えを行っていません。昨年度も、役員6世帯(夫婦が役員)、全員未経験者で活動を始めました。

当初は面倒くさいという思いが入り混じった心境でした。私が単子会長になって、不安がより大きくなったことが想い出されません。救いだっただけの気の知れた仲間達が役員ということでした。初めから役員全員が協力的で、年間の行事を決めた際も、それぞれの行事ごとにリーダーを引き受けてくれました。配布物等もみんな手分けして、一人に負担がかたよらないようみんなが協力してくれました。行事を重ねる毎に不安は消え、活動自体を楽しめるようになりました。

中でも一番印象に残っているのは球技大会です。前の年までは子どもを参加させているだけでしたが、昨年は全ての練習に、小学5年生の子とも一緒に汗を流しました。普段家では見られないような真剣な表情で練習に取り組む姿と、日々成長していく姿に喜びを感じました。単子は子どもの数は多いのですが、低学年が圧倒的に多く、主力となる高学年が1チームにたりないほどの人数しかいません。その為、岩津ブロック大会では毎年、一勝も出来ず、子ども達も最初は練習試合でポロ負けしても、いつものことという感じでしたが、練習を一生懸命するうちに、負けた時には悔しいと思ってくれるようになりました。そんな姿に役員も何とか勝たせてあげたいという気持ち

になりました。

大会当日には、役員や試合に出られない4年生の子も一生懸命応援しました。ファインプレーもあり初戦に勝つことができ、子ども達の喜ぶ顔に非常に感動しました。2回戦では負けてしまいましたが、悔し涙を流す子ども達にまた感動しました。反省会では子ども達の成長を涙ながらに話す親もいて、本当に充実した活動だったと思います。

その他の活動では、普段自分達で買い物をした事の無い子ども達の為に、町内のお祭りや駄菓子屋をひらいたり、お店から発砲スチロールをもらってき、手作りのお神輿を作ったりもしました。

一年間の活動を通じて、今まで知らなかった地域の行事や様々な人達との交流が出来たこと、普段目にする事のない子ども達の一面を見て非常に感動できたことがとても良かったことです。また、どのような活動、役割も周りの人達と助け合うことで、楽しく行うことが出来るものなのだ実感しました。初めての子ども会役員でしたが一緒にやってきた役員のみなさんには心から感謝しています。

反省として、子ども達による企画、運営の活動が出来なかつた事があります。今後、高学年の人数が増えてきたときは、是非行なってほしいと思います。(第31回育成者大会の体験発表より)





# 第50回 優勝 岡崎市子ども会球技大会

## ソフトボールの部 奥殿学区子ども会 生平学区子ども会

8月19日(土)に岡崎市中央総合公園運動広場において、恒例の岡崎市子ども会球技大会が開催されました。

市内8ブロック大会の代表がソフト・フットの優勝旗を我がものにしようと熱戦を繰り広げ、途中で降り出した小雨もいつしか熱い応援・声援にかき消されてしまい、絶好のコンディションとなりました。優勝チームの喜びの声をインタビューしました。

### ソフトボール

奥殿学区 奥殿GENKIDS  
キャプテン 永井綾汰君(6年)

- 1 優勝の感想は  
チーム皆で勝ちとったものだと思います。
- 2 練習で楽しかったことは  
大人の人と試合をした事です。
- 3 練習でつらかった事は  
練習の時間がダラダラして、監督が練習をやめると言った事です。
- 4 監督と皆で約束した事は  
絶対、優勝旗を持って帰る事です。
- 5 後輩たちに望む事は  
もう一度市の大会で優勝してほしいです。

監督 永井宏幸さん  
優勝の感想を一言  
素直な気持ちでうれいの一  
言です。

監督を引き受けた理由は  
自分の子どもが6年生になっ  
たら、引き受けようと思っ  
ていました。

練習開始時期は  
去年の9月末より昼1:30か  
ら夕方6:00まで毎週日曜日に

### 第50回岡崎市子ども会球技大会

#### ソフトボールの部

#### 奥殿GENKIDS

0	1	0	0	5
① 11:50 ソフト	② 12:00 ソフト	③ 12:00 ソフト	④ 12:00 ソフト	⑤ 12:00 ソフト
3	0	6	0	0
⑥ 12:00 ソフト	⑦ 12:00 ソフト	⑧ 12:00 ソフト	⑨ 12:00 ソフト	⑩ 12:00 ソフト
2	9	6	8	5
⑪ 9:30 ソフト	⑫ 10:00 ソフト	⑬ 9:30 ソフト	⑭ 9:30 ソフト	⑮ 9:30 ソフト
1 宇頭第三子ども会(矢作ブロック)	2 ガカガライタース(南ブロック)	3 住辻・羽根西(電南ブロック)	4 桑梨子ども会(美河ブロック)	5 GENKIDS(岩津ブロック)
6 稲一A-1(中央ブロック)	7 形勢オーシャンズ(東橋ブロック)	8 滝新チルドレン(常盤ブロック)		

#### ソフトベースボールの部

#### 生平ディーマンズ

0	7	1	5	0
① 13:50 ソフト	② 12:00 ソフト	③ 12:00 ソフト	④ 12:00 ソフト	⑤ 12:00 ソフト
2	7	1	5	0
⑥ 12:00 ソフト	⑦ 12:00 ソフト	⑧ 12:00 ソフト	⑨ 12:00 ソフト	⑩ 12:00 ソフト
14	3	11	1	2
⑪ 9:30 ソフト	⑫ 9:30 ソフト	⑬ 9:30 ソフト	⑭ 9:30 ソフト	⑮ 9:30 ソフト
1 岡崎平和学園(電南ブロック)	2 西町子ども会(東橋ブロック)	3 スーパーDOGOS(南ブロック)	4 INAGO(中央ブロック)	5 岩津(津)
6 生平ディーマンズ(美河ブロック)	7 ネオシティA(常盤ブロック)			

### ソフトベースボール

生平学区 生平ディーマンズ  
キャプテン 鈴木有穂さん(6年)

- 1 優勝の感想は  
私達は、フットの夏の大会に出られるのは最後のので優勝できてうれしかったです。
- 2 練習で楽しかった事は  
皆で競争しながらベースランニングをした事が楽しかったです。
- 3 練習でつらかった事は  
夏はとて暑くて練習の時、

練習してました。



指導方針を教えてください  
子ども達に大きな声を出させる事、ブロック、市の大会までに自分の目標を持たせた事。

練習を通して子ども達は変わりましたか  
最初の頃は声も出ずにダラダラして注意ばかりされていた子ども達が、子ども同士で注意できるようになってきた事。

来年度への希望は  
今年で監督を降りますが、来年の監督にもブロック・市の大会で優勝してほしいと思っています。

- 1 優勝の感想を一言  
3年生から6年生までのチーム、そんなに大きな子どももなくて遠くにキックできる子どももいないチームですが、全員で勝てた事がうれしい。昨年の秋、子ども達との金メダルをとる約束が守れた事は本当に良かった。
- 2 監督と皆で約束した事は  
今年には必ず市の大会で優勝すると約束しました。
- 3 練習開始時期は  
来年も優勝!!!
- 4 監督と皆で約束した事は  
大変でした。
- 5 後輩たちに望む事は  
来年も優勝!!!

監督 原田隆志さん  
優勝の感想を一言  
守れる様になると子ども達に自信がついてきます。試合に勝つ事が目標になり、自分達で上手になるうと努力する様になりました。

来年度への希望は  
人数の少ない子ども会です。多くの子ども達に参加してもらえとうれしい。けどあまりフットで縛ってしまうのも考え

てしまいます。